

高品質なステンレス鋼 × 加工技術で

切れ味と耐久性を併せ持つ

布切はさみ「采利」



耐久性に優れた刃

モリブデン・バナジウムが配合された高品質なステンレス鋼を使用。ブレード全体に焼入れを行い、耐久性に優れた刃に仕上げました。

鋭く、安定した切れ味

高度な職人技でしか再現できなかった、理想的な刃の形状を、数値制御による機械加工で形成。安定して優れた切れ味を実現しています。

手になじみやすく、握りやすいハンドル

軽くて頑丈なガラス繊維強化樹脂を使用しています。

良材で作られた
確かな切れ味

良材を選ぶ、采配、風格を意味する「采(さい)」

刃物などが硬く鋭いさまを表す言葉「犀利(さいり)」

から「采利」と名づけました

はさみの使い方

布が動かないように軽く手でおさえ、下の刃を作業台につけたまま、はさみを開閉させて切ります。重ね切りや厚地を切る場合は、刃の奥の方から中ほどまでをお使いください。

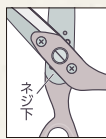
中台紙の「布切はさみの上手な使い方」も併せてお読みください

(ご購入時、刃に付いている防錆油が汚れに見えることがありますが、品質上問題はありません。ご使用前に拭き取ってください。)

お手入れ方法

ご使用後は、乾いた布でほこり・糸くず・手の汗や脂を拭き取り、ミシン油などを含ませた布で刃やネジ下(ネジとハンドルの間)を拭いてください。

お手入れ後は、刃先の保護のため付属のサックを付け、湿気の少ない場所で保管してください。



使用上の注意

- 布以外のものは切らないでください。(紙や針金など硬いものを切ると、刃の摩耗を早めたり刃が欠けたりします)
- 刃を傷めたり、はさみの調子を悪くする原因になりますので、押し切り(はさみを開閉させずに刃を押し当ててすべらせながら切ること)や空切り(布を切らずに刃の開閉だけを繰り返すこと)はおやめください。
- ネジの部分は調整してありますので、触らないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないようにしてください。ケガをしたり、はさみを傷めたり、切れなくなる恐れがあります。
- このはさみは、研ぎ直しできません。
- お子様の手の届かない所に保管してください。

△ 注意 安全確保のため取り扱いにご注意ください。

▼商品に不都合な点がございましたら、クロバー(株)「お客様係」までお問合せください。

クロバー株式会社

〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5
「お客様係」TEL.(06)6978-2277

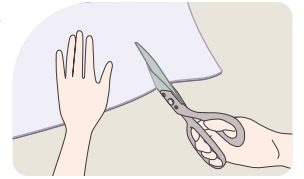
© 2025 CLOVER

MADE IN JAPAN

布切はさみの上手な使い方

・はさみを作業台につけ、浮かさず切りましょう

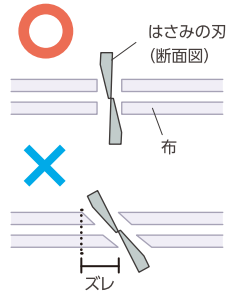
布が動かないように軽く手でおさえ、下の刃を作業台につけたまま、はさみを開閉させて切ります。布が台から浮く分をできるだけ少なくすることが大切です。



はさみは台につけて切る

・はさみは真っ直ぐ使いましょう

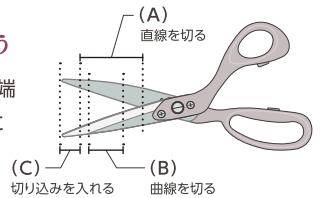
はさみは斜めにして切ったり、布を浮かせて切ったりすると、裁ち線が曲がったり、2枚の布がズれる原因になります。台に対してはさみを直角に持っているか確認して、切る方向の正面に立ち、はさみを使いましょう。



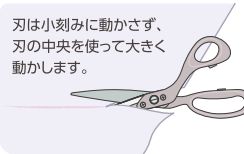
・切るところに応じて、

刃の使う部分を変えましょう

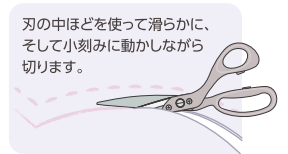
直線を切る場合、はさみの刃の先端まで使って切ると、切れ目が直線に続かず、段ができてしまいます。切るところに応じて、はさみの刃の部分を使い分けましょう。



(A) 直線



(B) 曲線



(C) 切り込み



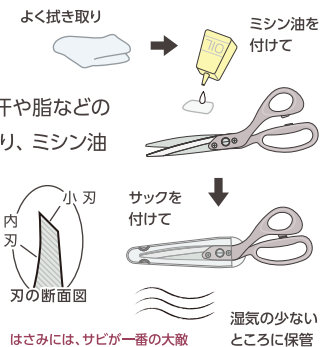
※ 3枚以上の重ね切りや厚地には、刃の先端ではなく刃の中ほどをお使いください。

お手入れ方法

長くお使いいただくために

・汚れを拭き取り、ミシン油を付けます

使用後は、ほこり・糸くず・手の汗や脂などの汚れを乾いた布でしっかり拭き取り、ミシン油を付けておきます。小刃・内刃の部分は特に念入りにしましょう。保管の際は、付属のサックをご使用ください。



・湿気の少ないところで保管しましょう

サビの原因になる湿気は、はさみの大敵です。湿気の少ない場所に置き、長期間ご使用にならない場合は、時々出してお手入れをしてください。